

Q. (標準問題精講3 標問97)

解説の補助をお願いします。

問題

n を3以上の自然数とするとき次を示せ. ただし, $\alpha = \cos \frac{2\pi}{n} + i \sin \frac{2\pi}{n}$ とし, i を虚数単位とする.

$$(1) \quad \alpha^k + \bar{\alpha}^k = 2\cos \frac{2k\pi}{n} \quad (k \text{ は自然数})$$

$$(2) \quad n = (1 - \alpha)(1 - \alpha^2) \cdots (1 - \alpha^{n-1})$$

$$(3) \quad \frac{n}{2^{n-1}} = \sin \frac{\pi}{n} \sin \frac{2\pi}{n} \cdots \sin \frac{n-1}{n} \pi$$

A.

$$(1) \quad \text{ド・モアブルの定理より, } \alpha^k = \cos \frac{2k\pi}{n} + i \sin \frac{2k\pi}{n}$$

$$\text{また, } \bar{\alpha} = \cos \frac{2\pi}{n} - i \sin \frac{2\pi}{n} \text{ より, } \bar{\alpha}^k = \cos \frac{2k\pi}{n} - i \sin \frac{2k\pi}{n}$$

$$\text{以上から, } \alpha^k + \bar{\alpha}^k = 2\cos \frac{2k\pi}{n}$$

(2) z を複素数とし, $z^n = 1$ を考える. ここで, z は1の n 乗根であるから, $z = 1, \alpha, \alpha^2, \dots, \alpha^{n-1}$ である.

$z^n - 1 = (z - 1)(z^{n-1} + z^{n-2} + \cdots + z^2 + z + 1)$ と因数分解でき,

$z^{n-1} + z^{n-2} + \cdots + z^2 + z + 1 = 0$ の解は $\alpha, \alpha^2, \dots, \alpha^{n-1}$ である.

ゆえに,

$z^{n-1} + z^{n-2} + \cdots + z^2 + z + 1 = (z - \alpha)(z - \alpha^2) \cdots (z - \alpha^{n-1})$ が成立する.

ここに, $z = 1$ を代入すると,

$$1 + 1 + \cdots + 1 = (1 - \alpha)(1 - \alpha^2) \cdots (1 - \alpha^{n-1})$$

$$\text{以上から, } n = (1 - \alpha)(1 - \alpha^2) \cdots (1 - \alpha^{n-1})$$

$$(3) \quad \frac{n}{2^{n-1}} = \sin \frac{\pi}{n} \sin \frac{2\pi}{n} \cdots \sin \frac{n-1}{n} \pi \text{ を示すことを考える.}$$

この両辺に, 2の $n-1$ 乗をかけ,

$$n=2^{n-1} \sin \frac{\pi}{n} \sin \frac{2\pi}{n} \cdots \sin \frac{n-1}{n} \pi$$

$$= (2\sin \frac{\pi}{n})(2\sin \frac{2\pi}{n}) \cdots (2\sin \frac{n-1}{n} \pi) \text{を示せば良い.}$$

ここで、(2)の結果を用いると、

$$n=(1-\alpha)(1-\alpha^2)\cdots(1-\alpha^{n-1})$$

$$=(2\sin \frac{\pi}{n})(2\sin \frac{2\pi}{n}) \cdots (2\sin \frac{n-1}{n} \pi)$$

を示せば良いとわかり、それぞれの項の絶対値を取り、各項の対応を考えると、ある自然数 $k(1 \leq k \leq n-1)$ について、

$$|1-\alpha^k| = |2\sin \frac{k\pi}{n}| \cdots (*) \text{を示せば良い.}$$

$$\text{ここで、} |1-\alpha^k|^2 = (1-\alpha^k)(1+\bar{\alpha}^k) = 1 - (\alpha^k + \bar{\alpha}^k) + |\alpha|^2 \cdots \text{①}$$

α は 1 の乗根の 1 つだから、 α の絶対値は 1 である。

これと、(1)の結果を①式に代入すると

$$|1-\alpha^k|^2 = 2 - 2\cos \frac{2k\pi}{n} \cdots \text{②}$$

半角の公式より、 $\frac{1-\cos \frac{2k\pi}{n}}{2} = \sin^2 \frac{k\pi}{n}$ なので②にこれを代入すると、

$$|1-\alpha^k|^2 = 4\sin^2 \frac{k\pi}{n}$$

$$\text{よって、} |1-\alpha^k| = 2\sin \frac{k\pi}{n} \cdots \text{③}$$

ここで、 $1 \leq k \leq n-1$ なので、 $\sin \frac{k\pi}{n}$ は正であり、 $2\sin \frac{k\pi}{n} = |2\sin \frac{k\pi}{n}|$

これと③より(*)が成立することがわかり、示すべき等式が成立することが証明された。